

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 田岡化学工業(株) 播磨工場

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1-1 環境保全活動に関する方針

・当事業所では、環境 ISO14001 : 2004, を取得し、環境保全活動に関する方針等については、環境マニュアルの中で「環境方針」において環境に調和した事業活動、継続的改善の実行など

宣言している。

重点テーマ

- ① リサイクル原料処理の推進と産業廃棄物の発生量削減
- ② 化石燃料・電力などの適正管理による省エネルギー
- ③ 排水、排ガス処理などの改善、管理強化

・CSR 報告書を毎年発行して、環境負荷、パフォーマンス等を公表している。  
(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

### 1-2 環境保全活動に関する組織体制

- \* 公害防止管理組織、並びに ISO14001 に基づく事業所環境委員会をもって、環境保全活動に関する組織体制としている。
- \* 連絡体制については、緊急事態対応の規程に基づいて内部・外部、緊急／異常事態発生時報告ルートを明示して周知・教育している。

## 2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組み結果	今後の取組み計画
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年 9 月末に亜鉛製錬を停止したことにより 鉍さい埋立処分量は、前年度比 49%減。10 月以降鉍さいの発生は無くなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亜鉛製錬設備解体、硫酸ニッケルプラントなどで新規に発生する廃棄物管理チェック強化等のコンプライアンス違反防止を図る。</li> </ul>
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年 12 月に外部再認証審査を受け、合格。</li> <li>トップによるマネジメントレビューを実施、継続して環境管理強化や改善を執行中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度の環境改善実行計画の推進。</li> <li>取組みの重点化と硫酸ニッケル事業での効果的な取組み。</li> </ul>
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年 6 月 1 日、トップによる全所員への環境教育、CSR 教育などを実施した。他、各部署で必要な教育を展開した。</li> <li>職場毎に分担し、海岸掃除を毎月継続している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社員への環境教育、CSR 教育を行い意識とレベルの更なる向上を図る。</li> <li>海岸掃除の継続。</li> </ul>
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度版 CSR 報告書発行。</li> <li>環境保全協議会合同研修会への参加</li> <li>兵庫県環境保全管理者協会活動への参加による環境情報の収集と意見交換。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境情報公開の継続。(CSR 報告書 1 回/年の発行等)</li> </ul>
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水汚染未然防止ではタンク、配管等からの有害物質漏えい点検管理強化中。</li> <li>硫酸ニッケルプラントでの危険物事故防止対策の実行、管理手順教育・訓練など実施。</li> <li>PRTR 法に伴う報告を経済産業省と兵庫県に行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他、有害物質漏えい防止の強化。</li> <li>硫酸ニッケル事業で使用する油類の管理強化。</li> <li>PRTR 報告に係る環境測定頻度増加による傾向管理と削減取組みの強化。</li> </ul>
特定物質排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>亜鉛製錬停止による CO2 排出量の削減。(目標 年間 13 万 t の削減に対して 92%達成)</li> <li>夏季、冬季ピーク電力値を削減。(計画的休転等による設備稼働の調整・停止により夏季 550MW、冬季 9,000MW を削減達成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備のインバーター化等、省エネ活動の推進による CO2 排出量低減の取組み継続。</li> <li>夏季/冬季でのピーク電力削減の継続。</li> </ul>
設備保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>亜鉛製錬停止に伴う、主要なばい煙発生施設の停止。</li> <li>新設備についても確実な設備点検・保全管理を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続した環境関連設備の補修、更新、改善管理の実施。</li> </ul>